



プールサイドから響く子どもたちの歓声が夏本番を感じさせます

7月後半は、夏休み前の学習の仕上げをしながら、体育では、主に水遊びや水泳の学習も行っています。

海に囲まれた男鹿市で育つ子どもたちですから、低学年で「水遊び」を中心に水に慣れ、中学年で「浮いて進む運動」を中心にクロールや平泳ぎの初歩的な泳ぎができるように、高学年では「クロールや平泳ぎ、息継ぎを身に付けて25mを泳げる」ことを目指したいと考えています。

しかし、水は危険なものであるということを忘れてはいけません。学校のプール指導では、安全第一で指導を行っていますが、夏是水辺でのスポーツやレジャー活動に参加する機会が多くなります。水泳を通して、命を大切にするとすることも学ぶ機会にしたいと考えます。

プールでの学習が終わる頃には、今年の夏は水泳が楽しかったという子どもたちの声が聞こえてくることを願っています。

【豆情報】

5年生担任の佐々木先生は、小学1年生から大学4年生まで、本格的に水泳に取り組んでいました。

自由形の選手として活躍し、ジュニアオリンピックにも出場されていたそうです。

佐々木先生の華麗な水泳フォームは、子どもたちのよいお手本になること間違いありません。

一粒の米

江戸時代の儒学者であり、将軍に仕え「正徳の治」といわれる大きな仕事をした新井白石のエピソード「一粒の米」の話です。

白石少年は最初から立派だったわけではありませんでした。子どもの時は、勉強が好きではなく、朝から晩まで友だちと遊びまわっていたそうです。

それを見たお父さんが白石少年にこんな話をしました。

米びつから米を一粒取っても、米を一粒入れても量の変化はわからない。一日勉強したからといって利口になるわけでもない、一日怠けたからといって愚かになるわけでもない。

しかし、一年、二年と続けていれば必ず大きな変化が見えてくるという話です。

今年の夏休みは少し短く、実質二十三日間ですが、夏休みの過ごし方も同じではないでしょうか。

「得意な学習を伸ばす」「苦手な学習をがんばる」「家の手伝いを決めて継続する」「起床時間を決めて規則正しい生活をする」など、何か続けられるものを見つけ、この夏休み中に続ければ、必ず得るものがあります。

「継続は力なり」大人も何かに取り組んでいる姿を子どもに見せたいものです。

子どもたちが、一日一日を大切に、有意義な夏休みを送れるよう、ご家庭の支援をよろしくお願いいたします。

8月と9月(前半)の主な行事予定

【8月】

- 1日(土) 夏季休業～22日
- 13日(木) 学校閉庁～15日
- 20日(木) 縣市連携研修会
ICT活用に係る研修会
- 21日(金) 職員会議・全体研究会
- 24日(月) 4校時限(給食あり)
夏休み後集会
くじらっこ#146ラボ
- 25日(火) 全校テスト、身体測定(1～3年)
- 26日(水) 身体測定(4～6年)、児童委員会
- 28日(火) 学校納金振替日
- 31日(月) 教育実習～9月29日

【9月(前半)】

- 2日(水) みんなの登校日、クラブ活動
- 3日(木) みんなの登校日
- 7日(月) 6年修学旅行(1日目)
昔語り・読み聞かせ
- 8日(火) 6年修学旅行(2日目)
5年放流式
- 9日(水) 3校時限(給食あり)
くじらっこ#146ラボ
市郡教科外研修会(午後)
- 10日(木) 指導主事訪問(初任研)
- 14日(月) 5校時限、南中学区小中連携授業研究会
くじらっこ#146ラボ
- 15日(火) 4年校外学習
- 16日(水) 児童委員会